

实践日语

语法

王晶 主编

辽宁大学出版社

实践日语语法

主 编 王 晶
副主编 张 涛

辽宁大学出版社

©王晶 2005

图书在版编目 (CIP) 数据

实践日语语法/王晶主编. —沈阳: 辽宁大学出版社, 2005. 4
ISBN 7-5610-4799-1

I. 实... II. 王... III. 日语—语法 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 032699 号

出 版 者: 辽宁大学出版社出版

(地址: 沈阳市皇姑区崇山中路 66 号 邮政编码: 110036)

印 刷 者: 沈阳昌通彩色印刷厂印刷

发 行 者: 辽宁大学出版社

幅面尺寸: 170mm×228mm

印 张: 15.5

字 数: 260 千字

出版时间: 2005 年 4 月第 1 版

印刷时间: 2005 年 4 月第 1 次印刷

责任编辑: 祝恩民

封面设计: 邹本忠

责任校对: 王 宁

定 价: 28.00 元

联系电话: 024-86864613

邮购热线: 024-86851850

Email: mailer@lnupress.cn

http: // www. lnupress. cn

目 录

第1章 序论部分.....	1
第一节 文章、句子、单词	1
一、 文章.....	1
二、 句子.....	1
三、 单词.....	1
四、 练习题.....	2
第二节 主语部分和谓语部分.....	3
一、 句子的基本形式.....	3
二、 主语部分和谓语部分.....	3
三、 练习题.....	4
第三节 句节.....	6
一、 句节的定义.....	6
二、 句节的性质.....	6
三、 划分句节的方法.....	6
四、 练习题.....	7
第四节 主语和谓语.....	9
一、 主语.....	9
二、 谓语.....	9
三、 主语的形式.....	9
四、 主语和谓语的位置.....	10
五、 一个主语是由两个以上句节构成的情况.....	10
六、 一个谓语是由两个以上句节构成的情况.....	10
七、 主语句节和小主语.....	11
八、 谓语句节和小谓语.....	11
九、 位于句中的小主语和小谓语	11
十、 练习题.....	12
第五节 修饰语.....	17

一、	修饰语和被修饰语.....	17
二、	修饰方法.....	18
三、	修饰主语.....	18
四、	修饰谓语.....	18
五、	修饰部分.....	19
六、	修饰句.....	19
七、	练习题.....	19
第六节	独立语.....	23
一、	独立语.....	23
二、	可以做独立语的词.....	23
三、	修饰独立语的词.....	24
四、	练习题.....	24
单元复习题		27
第2章	品词部分	34
第一节	名词.....	34
一、	名词.....	34
二、	名词的种类.....	35
三、	名词的构成.....	35
四、	练习题.....	35
第二节	代名词.....	38
一、	代名词.....	38
二、	代名词的种类.....	38
三、	「こそあど」系词.....	38
四、	体言.....	38
五、	练习题.....	38
第三节	动词.....	41
一、	动词.....	41
二、	动词的活用.....	41
三、	动词活用的种类.....	42
四、	五段活用.....	42
五、	上一段活用・下一段活用.....	42

六、	力行变格活用・サ行变格活用.....	42
七、	音变.....	43
八、	可能动词.....	43
九、	复合动词.....	43
十、	补助动词.....	43
十一、	练习题.....	43
第四节	形容词.....	50
一、	形容词.....	50
二、	形容词的活用.....	50
三、	复合形容词.....	50
四、	练习题.....	51
第五节	形容动词.....	53
一、	形容动词.....	53
二、	形容动词的活用.....	53
三、	形容动词与其他词的区别.....	53
四、	派生形容动词.....	54
五、	练习题.....	54
第六节	用言.....	56
一、	用言的概念.....	56
二、	用言在句子中的作用.....	56
三、	练习题.....	57
第七节	补助用言.....	60
一、	补助用言的概念.....	60
二、	补助动词用例.....	60
三、	补助形容词.....	61
四、	练习题.....	61
第八节	连体修饰语・连用修饰语.....	63
一、	连体修饰语.....	63
二、	连用修饰语.....	64
三、	练习题.....	64
第九节	副词.....	67
一、	副词.....	67
二、	副词的种类.....	67

三、 练习题.....	69
第十节 连体词.....	71
一、 连体词.....	71
二、 连体词的种类.....	71
三、 连体词的作用.....	72
四、 练习题.....	73
第十一节 接续词.....	75
一、 接续词.....	75
二、 接续词的种类及用法.....	75
三、 练习题.....	76
第十二节 感叹词.....	78
一、 感叹词.....	78
二、 感叹词的种类.....	78
三、 感叹词的用法.....	79
四、 由其他词转化而来的感叹词.....	79
五、 练习题.....	79
第十三节 独立词.....	81
一、 独立词.....	81
二、 独立词的分类.....	82
三、 加上接头词或接尾词的独立词.....	82
四、 练习题.....	83
第十四节 附属词.....	85
一、 附属词.....	85
二、 附属词的种类.....	85
三、 附属的方法.....	85
四、 练习题.....	86
第十五节 助动词.....	88
一、 助动词.....	88
二、 活用的种类.....	88
三、 附属方法.....	89
四、 助动词的分类.....	89
五、 使役助动词.....	89
六、 被动、可能、自发、尊敬助动词.....	89

七、	郑重助动词.....	90
八、	希望助动词.....	90
九、	否定助动词.....	91
十、	断定助动词.....	91
十一、	时态(过去、完了、存续)助动词.....	91
十二、	例示、不确定推断助动词.....	92
十三、	推量、意志助动词.....	92
十四、	推量助动词.....	93
十五、	否定推量、否定意志助动词.....	93
十六、	样态助动词.....	93
十七、	传闻助动词.....	94
十八、	练习题.....	94
第十六节	助词.....	107
一、	助词.....	107
二、	格助词.....	107
三、	接续助词.....	108
四、	副助词.....	109
五、	终助词.....	110
六、	练习题.....	111
第十七节	复合词.....	121
一、	复合词.....	121
二、	名词.....	121
三、	动词.....	122
四、	形容词.....	122
五、	副词.....	122
六、	接续词.....	122
七、	练习题.....	123
第十八节	词性的转化.....	125
一、	转化为名词.....	125
二、	转化为动词.....	125
三、	转化为形容词.....	125
四、	转化为副词.....	126
五、	转化为接续词.....	126

六、 练习题.....	126
单元复习题.....	128
第3章 应用部分.....	135
第一节 句子.....	135
一、 从构造上划分句子.....	135
二、 从性质上划分句子.....	135
三、 练习题.....	136
第二节 指示词.....	138
一、 指示词.....	138
二、 指示词的种类.....	139
三、 指示词的用法.....	139
四、 练习题.....	139
第三节 敬语.....	142
一、 尊敬语.....	142
二、 自谦语.....	143
三、 郑重语.....	143
四、 练习题.....	143
第四节 表記法.....	145
一、 现代假名读音与书写的基本方法.....	145
二、 送假名的标记法.....	145
三、 标点符号的使用方法.....	146
四、 练习题.....	146
单元复习题.....	150
附一 综合练习题.....	159
附二 日语语法模拟试卷.....	193
附三 国际日语能力测试模拟练习题(2级-1).....	199
附四 国际日语能力测试模拟练习题(2级-2).....	202
附五 国际日本语能力试验模拟练习题(1级-1).....	204
附六 国际日本语能力试验模拟练习题(1级-2).....	208
附七 参考答案.....	212
后记.....	240

第一章 序论部分

第一节 文章、句子、单词

一、文章

许多句子以种种关系连接而成，表达一个完整思想的语言单位。一篇小说、论文、讲演稿及至一首短歌、一句俳句、「川柳」均是文章。

二、句子

表达一个相对完整的思想、感情的语言单位。一个句子就具有一个完整性，所以句末为「。」。句子通常为「～～は、～～である」、「～～が、～～する」的形式，即主语部分和谓语部分用「、」隔开。其中也有由一个词构成的句子，即「独词句」。

例：◎私は中学生である。（我是中学生。）

◎花が咲く。（花开。）

◎「おや？」（怎么了？）

◎「火事！」（着火了！）

三、单词

具有独立性的最小的语言单位。表达某种概念、意思。单词按其性质、作用进行分类，这些类别不同的词叫「品词」，即词性。日语中有十一类「品词」。即：名词、代词、动词、形容词、形容词、副词、连体词、接续词、感叹词、助词。

注意 理解句子中「。」和「、」的意义和作用。



四、练习题

1. 次の文の①～⑧について、文であるものには○印を、文ではないものには×印をあとの（ ）の中に書きなさい。（把下面①～⑧的短句中，是句子的画○，不是句子的打×，答案填在括号里。）

「にいさん。これ、そうだろう。」

「どれ。」

①

兄は、そばにいる弟の方をふり向いた。そして、弟のさしだしたきの

②

こを見た。しかし、すぐ言った。

「それは違うよ。こういうんでなくちゃ。」

③

彼は、自分でいま採ったばかりのはつたけを、弟に示した。

④

「これ、だめ。」

⑤

弟は残り惜しそうに、採ったきのこをながめていた。

⑥

「ああ、かさの下にぎざぎざのないのはだめだよ。へびだけってね、毒きのこなんだよ。」

⑦

彼はまだ十一の少年だけれど、弟に対するときは、さすがに兄らしい落ちつきと、いたわりとがあった。

⑧

① () ② () ③ () ④ ()

⑤ () ⑥ () ⑦ () ⑧ ()

2. 次の二つの文の意味の違いを答えなさい。（指出下面两个句子意思的不同之处。）

① わたしは、昨日本屋で、万葉集と、つれづれ草の注解書を買ってきました

た。

- ② わたしは、昨日本屋で、万葉集とつれづれ草の、注解書を買ってきました。

第二节 主语部分和谓语部分

一、句子的基本形式

- A. 陈述句 以动词做谓语的句子即陈述句。即：「何が、どうする。」的形式。
例：◎花が、咲く。(花开。)
- B. 描写句 以形容词或形容动词做谓语的句子即描写句。即：「何が、どんなだ。」的形式。
例：◎海が、広い。(大海辽阔。)
- C. 判断句 以体言加判断助动词「です」做谓语的句子即判断句。即：「何が、なんだ。」的形式。
例：◎彼が部長です。(他是部长。)
- D. 存在句 以存在动词「ある」或「いる」做谓语的句子即存在句。即：「何が、ある(ない)。」的形式。
例：◎机の上に本がある。(桌子上有书。)

二、主语部分和谓语部分

主语部分指句子基本形式中的「何が」部分, 谓语部分指「どうする。」「どんなだ。」「なんだ。」「ある(ない)。」部分而言。

主 语 部 分	谓 语 部 分
雨が、	降る。
こまかい雨が、	しとしとと降る。
こぬかのようにこまかい雨が、	朝からしとしとと降る。

如上表所示, 「何が」部分无论多长, 这部分都是主语部分, 而「どうする。」「どんなだ。」「なんだ。」「ある(ない)。」部分无论多长都是谓语部分。

例： ◎どなたですか、あなたは。(你是谁?) (主谓部分倒置)

◎朝から、しとしと 雨が 降る。(从早上起淅淅沥沥地下起了雨。)(谓语部分被主语部分分开)

◎上の兄は、山へ行き、次の兄は、海へ行った。(大哥上山，二哥下海。)

(注：_____为主语部分、_____为谓语部分)

注意

1. 与主语句节相关的句节均为主语部分。
2. 与谓语句节相关的句节均为谓语部分。
3. 判断主语部分和谓语部分时，可根据「～～は」或「～～が」来判断，但并不是所有的「～～は」或「～～が」都是主语部分。

三、练习题

1. 次の文の主部に_____線をつけなさい。(用_____线标出下列句子的主语部分。)

- ① 町に祭りにたいこが、山の中の発電所までひびいてくる。
- ② 皮のジャンパー、皮の長ぐつに身を固めた猛獣使いは、しなったむちを横にして、軽く両手でおさえながら、気どった姿勢で、お客にお礼のことばを述べていました。
- ③ 小学校の三年生だったわたしは、姉に連れられて、はじめて図書館の門をくぐった。
- ④ じゅうぶん読書の喜びを味わったわたしは、それから日曜のたびにその図書館へ通うようになった。
- ⑤ 自分を見つめた日記を書くことは、ほんとうの自分を知り、正しく自分を導く努力をするもとなるのです。
- ⑥ 今どきの子どもさんたちはみんなはつきりしていますね。
- ⑦ ことばというものはその人の性格を端的にあらわすものです。
- ⑧ ことばの知識や技術・態度を学ぶとともに、友情を深めることもたいせつである。
- ⑨ 気の合った友達と考えを述べあうことは、お互いに深い理解を持つことになります。
- ⑩ 今日、親しい友人から、久しぶりに手紙がきた。
- ⑪ おばあさんの若いころとは、読み物もすっかり変わってきたね。
- ⑫ 電車の中で、一人の学生が通路に立ったままで本を読んでいた。

- ⑬ 思うがけないような高い所に、白い大根が枯れ木にかけ並べて干してあった。

2. 次の文の述部に _____ 線をつけなさい。(用 _____ 線标出下列谓语部分。)

- ① 今まで静かな並足で歩いていた馬は、早足になってそのひずめを鳴らしはじめた。
- ② 母や、弟や、学友や、親せきの者も、峠の茶屋まで、上京するぼくを見送ってくれた。
- ③ その人のちぶさを吸い、その人にだかれて寝た幼時の日も、遠いむかしの夢のようだ。
- ④ 深い谷あいの空気にもまれたお母さんのほおの皮膚の色は、まだりんごのようなつやつやした赤味をおびていた。
- ⑤ からだのほんとうの構造も知らずに、今までこの業をつとめてきたのは、まことにめんばくない次第である。
- ⑥ おじさんに送っていただいたシュバイツァーの伝記は、たいそうおもしろかった。
- ⑦ 上り列車に乗る大部分の人は登山者であり、下り列車に乗るほとんどの人は、海水に行く人である。
- ⑧ 英語などでは、友達どうしの話し合いも、大統領と床屋さんの場合も、使うことばはあまりかわらない。
- ⑨ 西洋詩を紹介するときには、原作者の選択がたいへん重要である。

3. 次の文には、「だれだれが」という主語に当たることばが、() の中にかくされています。この() の中に、適当なことばを書き入れなさい。

(下文中、括号内为相当于「谁」的主语。请在括号里填入适当的人名。)

ある晩、クリストフは自作の小曲をゴットフリートに示そうと思いついた。その曲は(①)が作るのにたいへんほねおったものであり、得意になっているものであった。(②)は静かに耳を傾けた。それから言った。

「実にまずいね、きのどくだが。」

(③)は面目を失って、答うべきことばも見いだせなかった。

(④)は、あわれむように言った。

「どうしてそんなものをこしらえたんだね。だれもそんなものをこしらえろとは言わなかったろうにね。」

(⑤) は、いきどおりのあまり、まっかになって言いさからった。

「おじいさんは、ぼくの音楽をたいへんいいと思っているよ。」と (⑥) はさげんだ。ところが (⑦) は平気で言った。

「だが、おれはたいへんまずいと思う。」

(⑧) はくちびるをかみしめた。

第三节 句节

一、句节的定义

句节是句子从意义上和发音上划分的最小单位。每个句节后面可加入「ね」、「よ」、「さ」等终助词，用于停顿、换气。

二、句节的性质

- A. 音节按一定的顺序排列，并连续发音。
- B. 构成句节的各音节的高低关系（语调）是固定的。

例：◎はなが咲いた。(花开了。)(高音在「な」)

◎はなが高い。(鼻梁高。)(高音在「なが」)

- C. 在实际运用时，在句节的前、后可停顿。

三、划分句节的方法

- A. 在实际运用语言时，在不破坏意义的前提下，将句子划分成最小单位。

例：◎わたしは 沼地の 岸で 一羽の がんが 苦しんで いるの
を 見つけました。(我在沼泽地的岸边发现了一只痛苦挣扎的大雁。)

- B. 在划分句节时，可加入「ね」等类的终助词，更容易理解。

例：◎わたしはネ 沼地のネ 岸でネ 一羽のネ がんがネ 苦しん
でネ いるのをネ 見つけました。(我在沼泽地的岸边发现了一只痛苦挣扎的大雁。)

注意

1. 复合词为一个句节。

2. 「こと、はず、もの、ため」等词虽然与前面的词紧密相连，但均为独立词，是一个句节。

**四、练习题**

1. 次の文は、文節に区切って書いてありますが、それぞれ一カ所だけ誤りがあります。そこに____線をつけて、正しく書き出さない。 (下列各句已被划分成各个句节，但每句各有一处错误，请指出来并重新改写。)

- ① 書物を 多く 読めば 読む 力も ついてくる。 ()
- ② わたしは ことば づかいに いつも 心を つかう。 ()
- ③ 雨が 降ったので 体育大会は 延期 された。 ()
- ④ 少年のころ わたしの 家には から松の 生けがきが あった。 ()

2. 次の文を文節に区切り、文節の数を () の中に書きなさい。(划分下面各句的句节，将句节数写在 () 里。)

- ① 高い山に登れば人間の世界が小さく見えるものです。 ()
- ② 緑の中をさまよえば何かしんしんと思いが深まる。 ()
- ③ 幼児の頭はからだのわりに大きいのでよちよち歩いていると頭の重みで前に倒れそうに見えます。 ()
- ④ 夕食後英語の勉強をしていると弟が宿題のプリントを持ってきて教えてくれと言った。 ()
- ⑤ 冬の寒い夕方強い風に吹きまくられながら物置小屋からまきを運んだ。 ()
- ⑥ 神さまは鳥には空を飛ぶことのできるつばさを獣には野や山を駆けることのできる早い足をそして人間にはなによりもすばらしい知恵を授けてくださいました。 ()
- ⑦ ふだん自由に使っていることばというものがいかに複雑であるかということがよくわかる。 ()
- ⑧ 電話で話をしたりラジオを聞いたりするときは相手の顔や態度は少しも見えません。 ()
- ⑨ 教科書やいろいろの本を読んで意味のわからないことばや読めない漢字などが出てきたときには辞書で調べてください。 ()
- ⑩ ある男が道ばたで遊んでいた子いぬを拾い上げてそれをサーカスに持

- っていきました。()
- ⑪ じゅうぶんに読書の喜びを味わったわたしはそれから日曜のたびに図書館に通いました。()
- ⑫ 図書館はたとえてみれば大きな百科辞典であり知識のデパートであると言えます。()
- ⑬ あらすじや読後感を書くためには読んだあとでよく思索しなければなりません。()
- ⑭ モーグリ少年はジャングルの中のけものの中でただ一人の人間の子として育ちながら少しもさびしがらなかった。()
- ⑮ 工場のサイレンがあたかも眠りから覚めようとする町々をよび起すかのように高々と鳴り響いた。()
- ⑯ 雨ニモマケズ風ニモマケズ雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ丈夫ナカラダヲモチ欲ハナク決シテイカラズイツモシズカニワラッテイル。()
- ⑰ ふるさとのなまりなつかし停車場の人ごみの中にそれを聞きにゆく。()
- ⑱ くれないの二尺のびたるばらの芽の針やは(わ)らかに春雨の降る。()

3. 次の文のうち、文節の区切り方の最もよいものに、○印をつけなさい。
(给下列句中，句节划分最恰当的句子画○。)

- ① { ア. ぼくの 家に 父が ある 友人から 買った 白うさぎが
二羽 飼ってあります。
イ. ぼくの 家に 父が ある 友人から 買った 白うさぎが
二羽 飼って あります。
ウ. ぼくの 家 に 父が ある 友人から 買った 白うさぎ
が 二羽 飼って あります。
- ② { ア. 自分を 離れて ものごとを 見つめる ことが この こ
ろから 少しずつ わかり はじめました。
イ. 自分を 離れて ものごとを 見つめる ことが この こ
ろから 少しずつ わかり はじめました。
ウ. 自分を 離れて ものごとを 見つめる ことが この こ
ろ から 少しずつ わかり はじめました。